資料２

令和８年７月１０日・１１日
土地利用構想説明会資料

（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業に関する大規模開発事業における土地利用構想説明会

大規模開発事業者
調布市・ＦＣ東京

※本説明会は、調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例に基づき開催します。

【本日の内容】

■開会の挨拶
■土地利用構想等の説明
　１　これまでの主な経過・状況
　２　土地利用構想の概要
　３　施設概要
　４　（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園のイメージ映像
　５　（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園の機能
　６　事業手法、事業スケジュール
■質疑応答
■意見書提出の御案内
■閉会

１　これまでの主な経過・状況

１　これまでの主な経過・状況

■用地（調布基地跡地留保地）の沿革

・味の素スタジアムの東側、西町公園の北側に隣接する約６ｈａ（約６万㎡）の国有地
・調布基地跡地留保地は、昭和２０年９月に連合国軍に接収され、昭和４９年１２月に米軍から返還された関東村住宅地区国有地の一部で、国において、「当分の間、処分を保留する」とされた土地（以下「留保地」という。）
・国は、平成１５年６月に、「原則利用、計画的有効活用」という考え方に方針転換するとともに、調布市に対して、５年間程度で利用計画の策定を要請

■調布市の検討経過など

・国からの要請を受け、平成１６年度以降、留保地の活用に関する調査や検討を重ね、平成２０年３月に「調布基地跡地留保地利用計画」（以下「利用計画」という。）を策定
・利用計画の策定も含め、市の基本計画へ位置付けながら取組の検討を進めてきたが、そのほかの様々な重要課題に対応する必要があり、計画の実現までには至らず
・令和７年６月に、ＦＣ東京から、市と連携して留保地を活用した施設整備に関する提案を受ける
・ＦＣ東京からの提案を踏まえ、利用計画の枠組みを基本とする「調布基地跡地留保地施設整備基本計画」を策定（令和７年１２月）し、現在、整備に向けて設計中

●市で活用計画がありながら、その実現（実行）に至らない
●一般の利用に開放されず（閉鎖管理のまま）

→

●計画の実現（実行）により、防災・スポーツレクリエーション機能を確保
●多面的な機能を有する都市公園としての利用を実現

２　土地利用構想の概要

２　土地利用構想の概要

項目	内容
事業名称	（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業
大規模開発事業者	調布市、東京フットボールクラブ株式会社
主な土地利用の目的	都市公園
開発区域	調布市西町６６６番地１外　　約6万8440㎡（西町公園含）
土地利用構想の基本事項	【土地利用の方針】 調布のまちづくりに多面的な効果をもたらし、まちの付加価値の向上に資する防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園を整備する。 【公共施設・公益的施設の整備の方針】 平常時の利用に向けては、スポーツ施設や広場等を整備するほか、災害時においては、一時避難場所や物資集積エリア等として活用するとともに、防災備蓄倉庫を設置する。 【周辺環境及び景観の保全の方針】 道路境界から15mの範囲には建築物を設けず、周辺環境への影響を抑える。また、既存樹木を可能な限り残す計画とする。

2　土地利用構想の概要



土地利用構想図

■区域面積（西町公園含）
約６万８４４０㎡

■建築面積（青色部分）
約６７８０㎡

■延床面積（青色部分）
約８３２０㎡

■構造・規模（⑦）
鉄骨造、地上２階建て

■主な用途
①広場
②多目的コート
③人工芝グラウンド
④テニスコート
⑤公園管理棟
⑥天然芝フィールド
⑦（仮称）運動施設棟
⑧防災備蓄倉庫

2　土地利用構想の概要



工事の概要

■工事予定期間

令和９年２月下旬～
令和１０年５月下旬
※市が用地取得後、整地工事実施予定
（令和８年秋頃）

■工事上の留意事項

・工事時間や工事関係車両の経路は、安全確保や近隣への影響に配慮
※通学時間帯にも留意
・仮囲いの設置や防塵・防音措置、交通誘導などの対策
・問合せ窓口の設置

意見書提出の御案内

この土地利用構想に関し、地域の特性を生かした住み良い街づくりを推進する見地からの意見を有する方や、本件開発区域に隣接する土地又は建物について権利を有する方は、調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例に基づき、市に意見書を提出することができます。

【提出期間】

令和８年７月２日（木）～同月２３日（木）

【提出先】

182-8511　調布市小島町２－３５－１

調布市都市整備部まちづくり推進課開発景観係

【記載内容】※意見書には以下に掲げる事項を記載・添付してください。様式は問いません（任意）。

①氏名又は名称、住所又は所在地、電話番号（法人その他の団体は代表者の氏名）

②大規模開発事業の名称

➡「（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業」

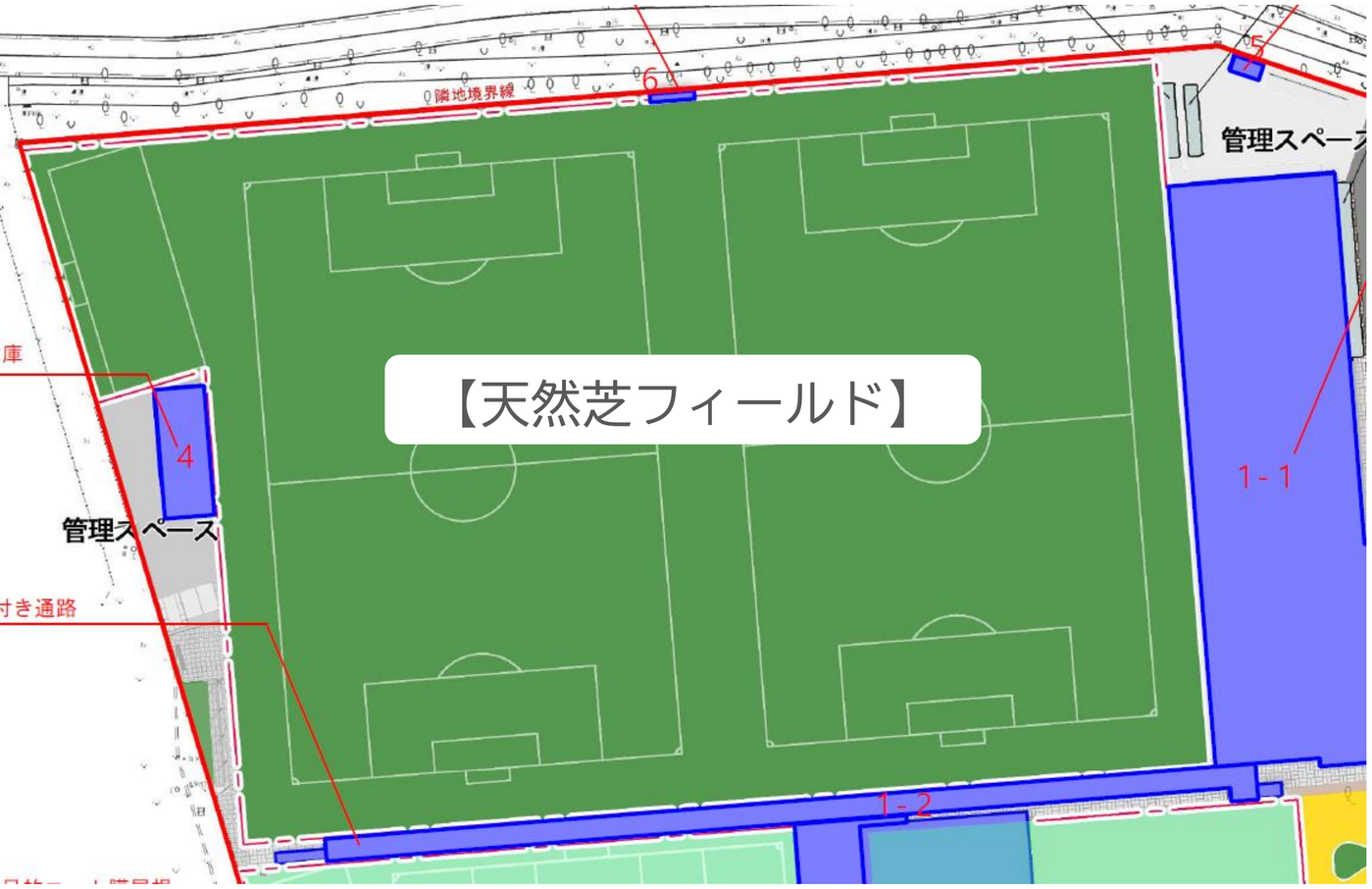
③意見とその理由

【その他】

意見書には、開発事業者に対する土地利用構想に関する意見をご記入いただけます。意見書と、開発事業者が作成する見解書は、縦覧対象となります（個人情報は除きます）。

3　施設概要

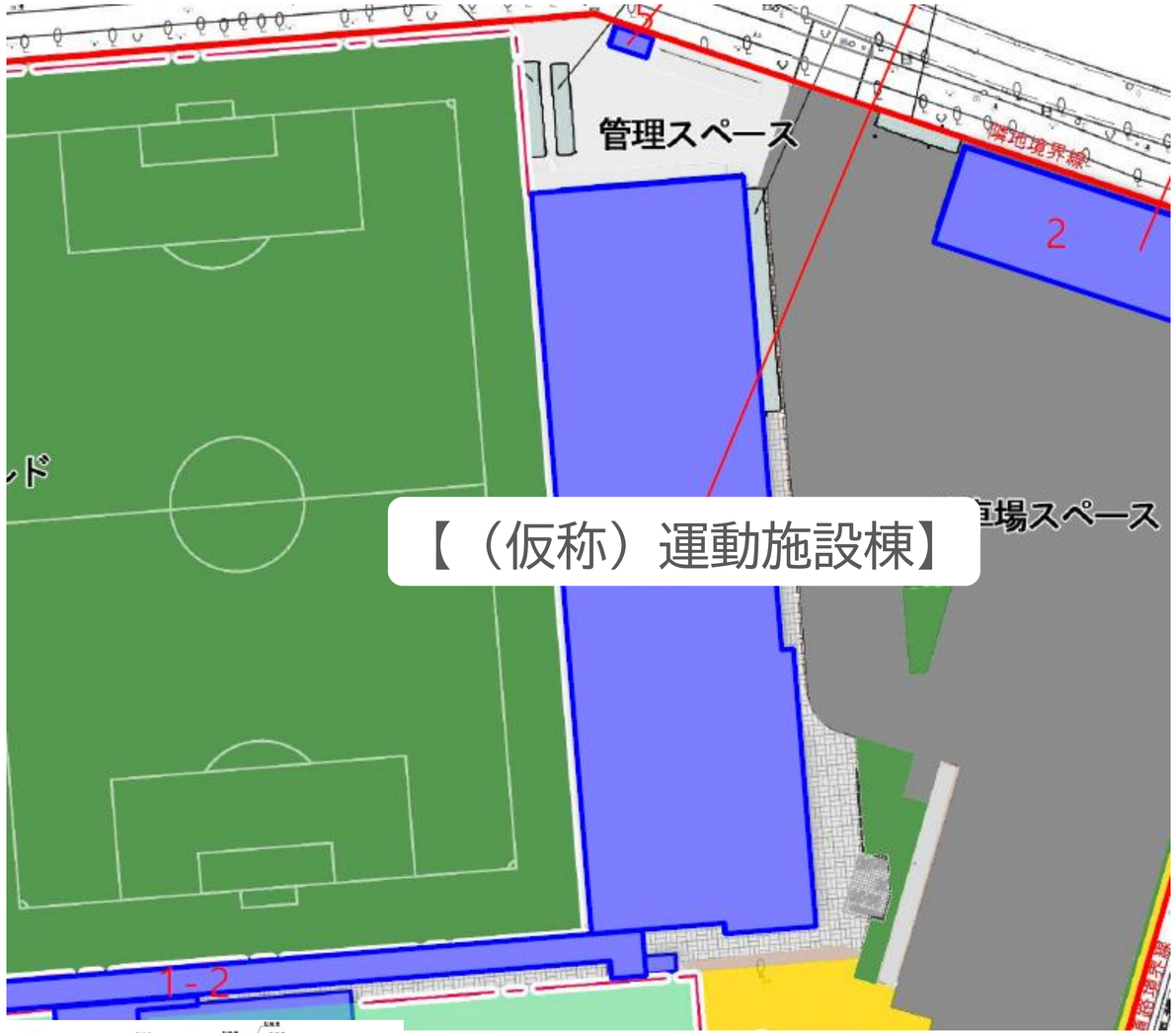
3　施設概要【天然芝フィールド】

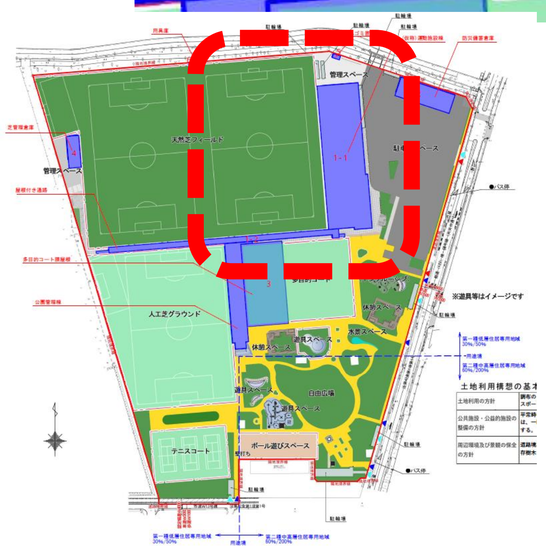




- サッカーコート２面
- ＦＣ東京の練習拠点としての利用を主とする施設
- 「する・みる・ささえる」の視点から、市民がスポーツに親しめる環境づくり
  ※市民向け事業の展開
  ※トップスポーツの観覧
  ※スポーツ選手の応援　　など
- ＦＣ東京のトップチームの練習観覧、選手とのふれあい機会

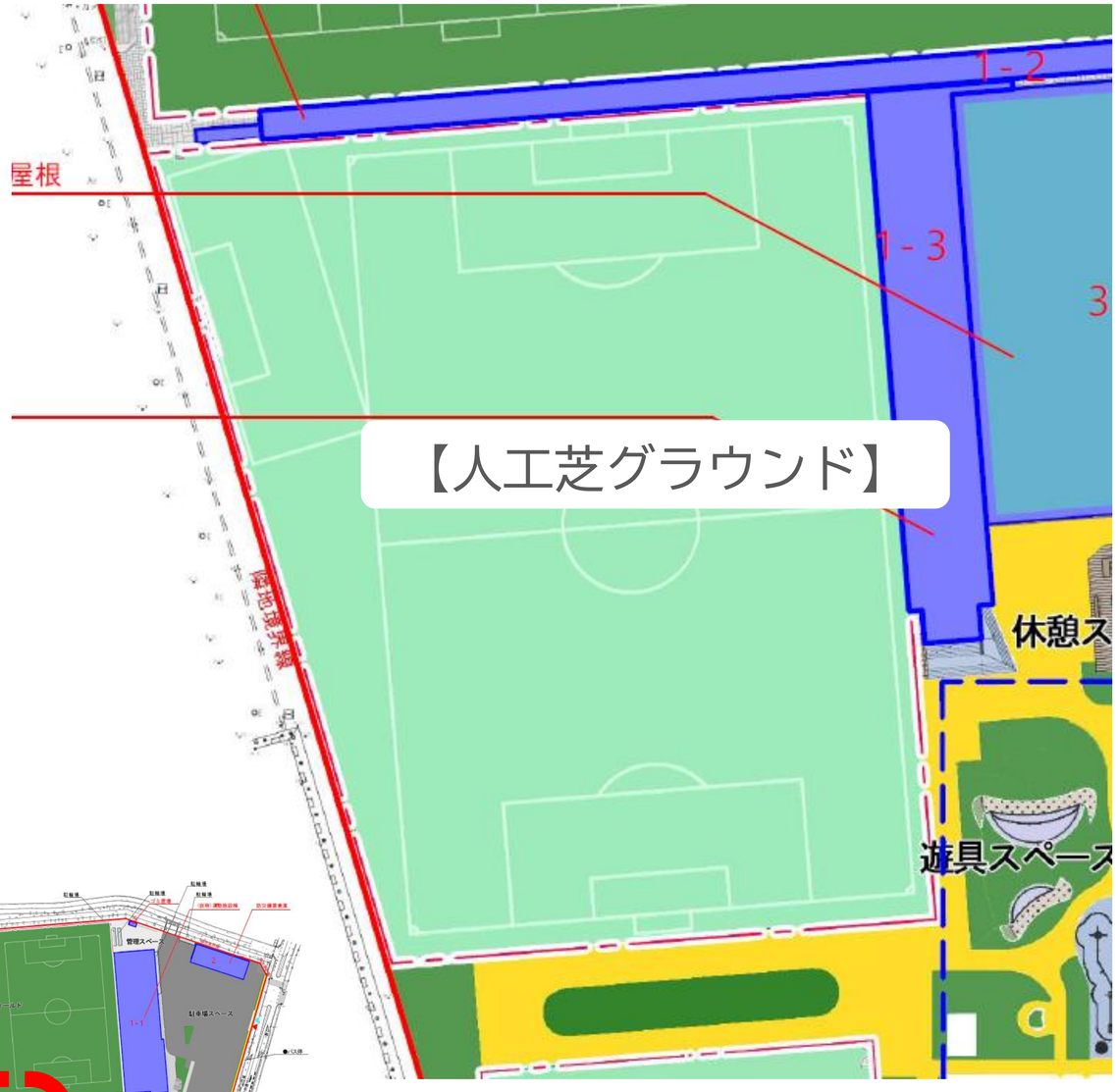
3　施設概要【（仮称）運動施設棟】





- ２階建て
  （延床面積　約５１５０㎡）
- ＦＣ東京の練習拠点としての機能を備えるとともに、公園施設全体の管理・運営拠点
- 市民の運動機会の提供、休憩・喫茶機能等の設置、利便性向上・交流や憩いの場などとしての運用

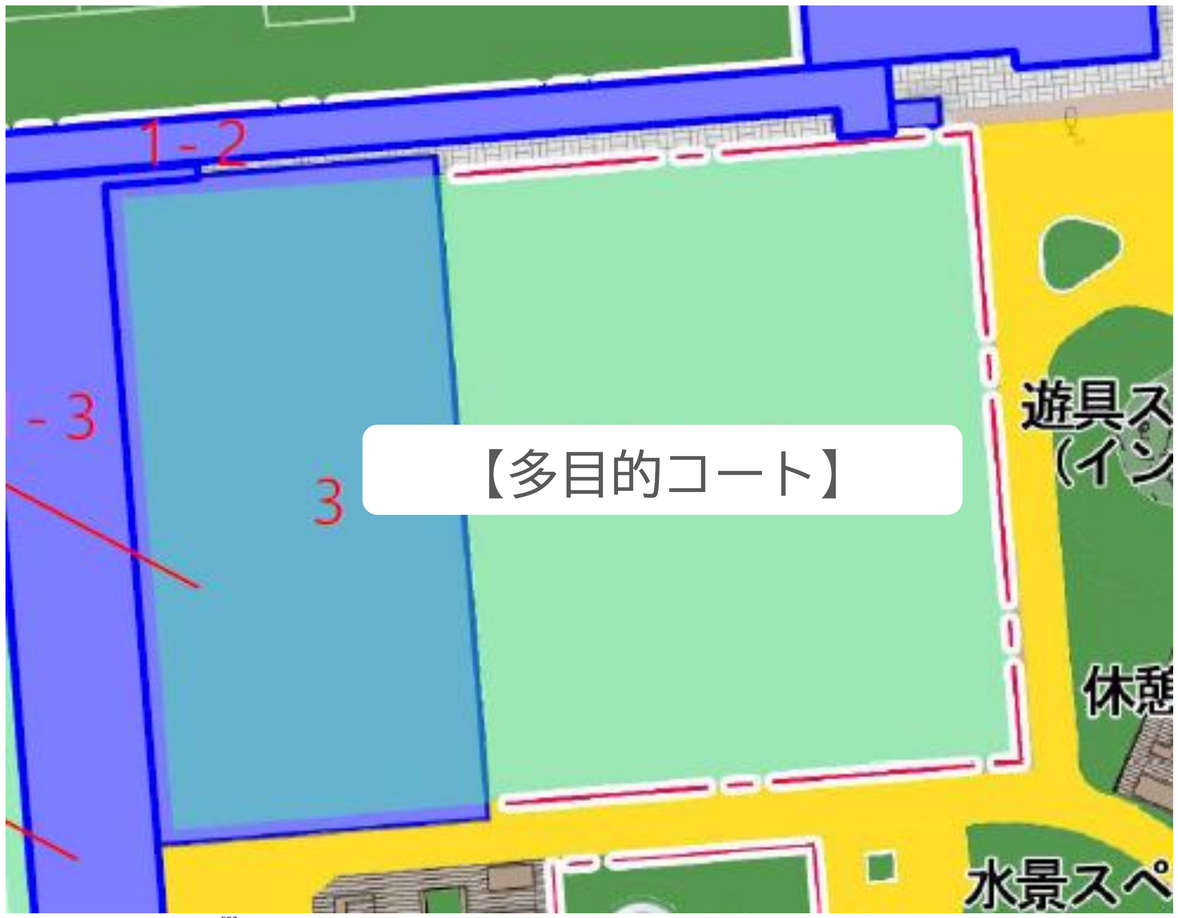
3　施設概要【人工芝グラウンド】





- 多様なスポーツ（ラクロス・グラウンドゴルフ等）や、健康増進活動・保育園等での活用
- 幅広い世代の利用促進、施設の有効活用
- 周辺環境への影響も踏まえた配置位置
- ＦＣ東京（中・高校生世代）の練習での活動
- 一般的なサッカーコートの広さ

3　施設概要【多目的コート】

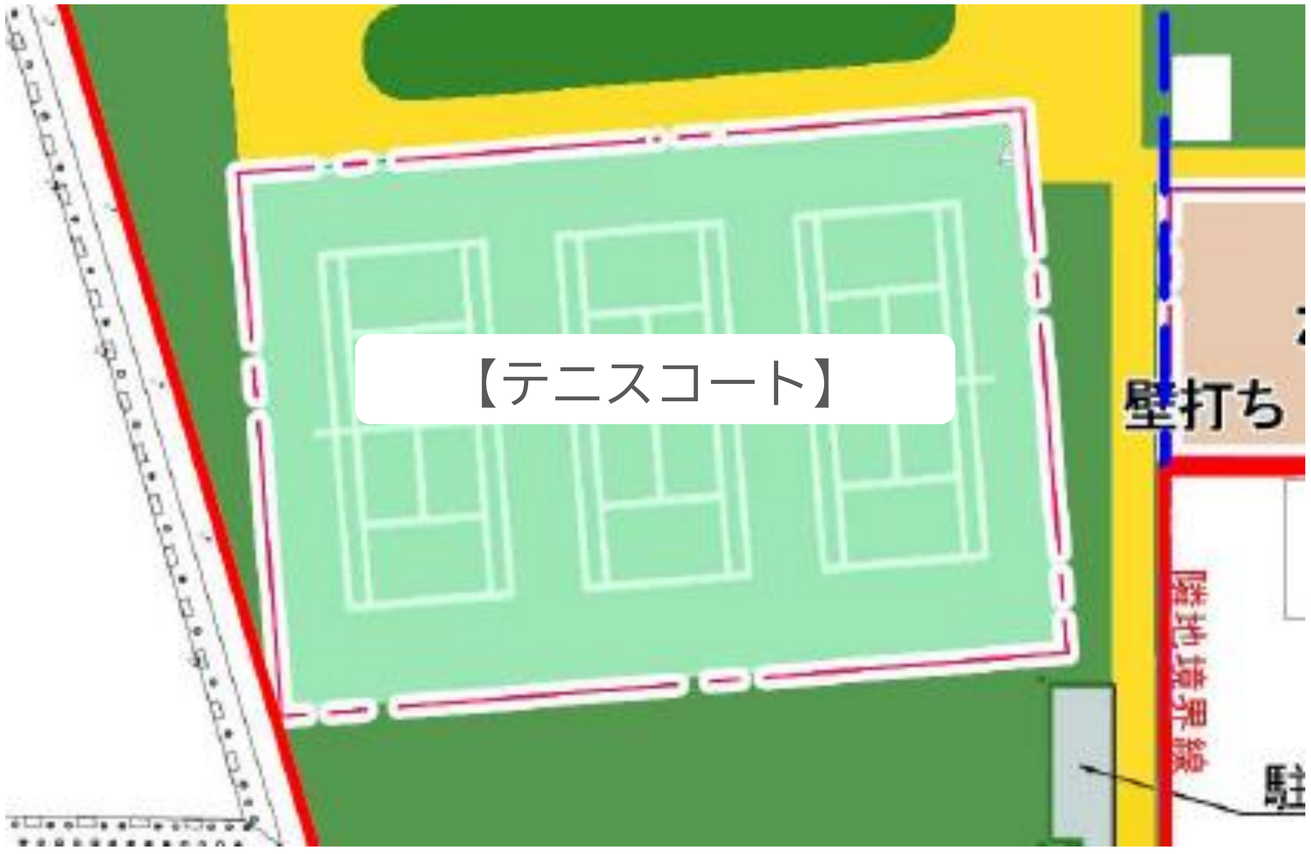


【多目的コート】



- ●汎用性の高い開放的なスペース
- ●多様な利用（ドッヂビーやモルック等のニュースポーツ、フットサルなどの様々なスポーツや運動、ボール遊びや子どもたちの活動、イベント等の実施）を想定し、施設を有効活用
- ● コートの一部に屋根（膜屋根）を設置し、屋外運動施設における暑熱対策と併せ、施設の活用幅を拡大

3　施設概要【テニスコート】





- ニーズや既存のテニスコートにおける稼働率の高さを踏まえ、コートを３面設置予定
- コート全体の面積及び留保地の形状を踏まえ、スペースを効率的に活用する配置
- 周辺環境への影響に留意

3　施設概要【自由広場・西町公園】





- 南に隣接する西町公園との一体的整備により、市内でも有数の規模を誇る公園を創出
- 多世代が憩える場の確保や、西町公園との連続性、一体性にも考慮した効果的で機能的な配置
- 施設全体の顔として、既存の植栽も活用しながら、豊かな自然の景観や開放感を醸し出し、誰もが親しみを持てる空間
- 誰もが利用できるインクルーシブ遊具などを設置
- 緑が有する機能である暑熱対策（木陰）や雨水浸透、遮音、遮光、ＣＯ２削減など、グリーンインフラとして有効活用

3　施設概要【公園管理棟】



【公園管理棟】



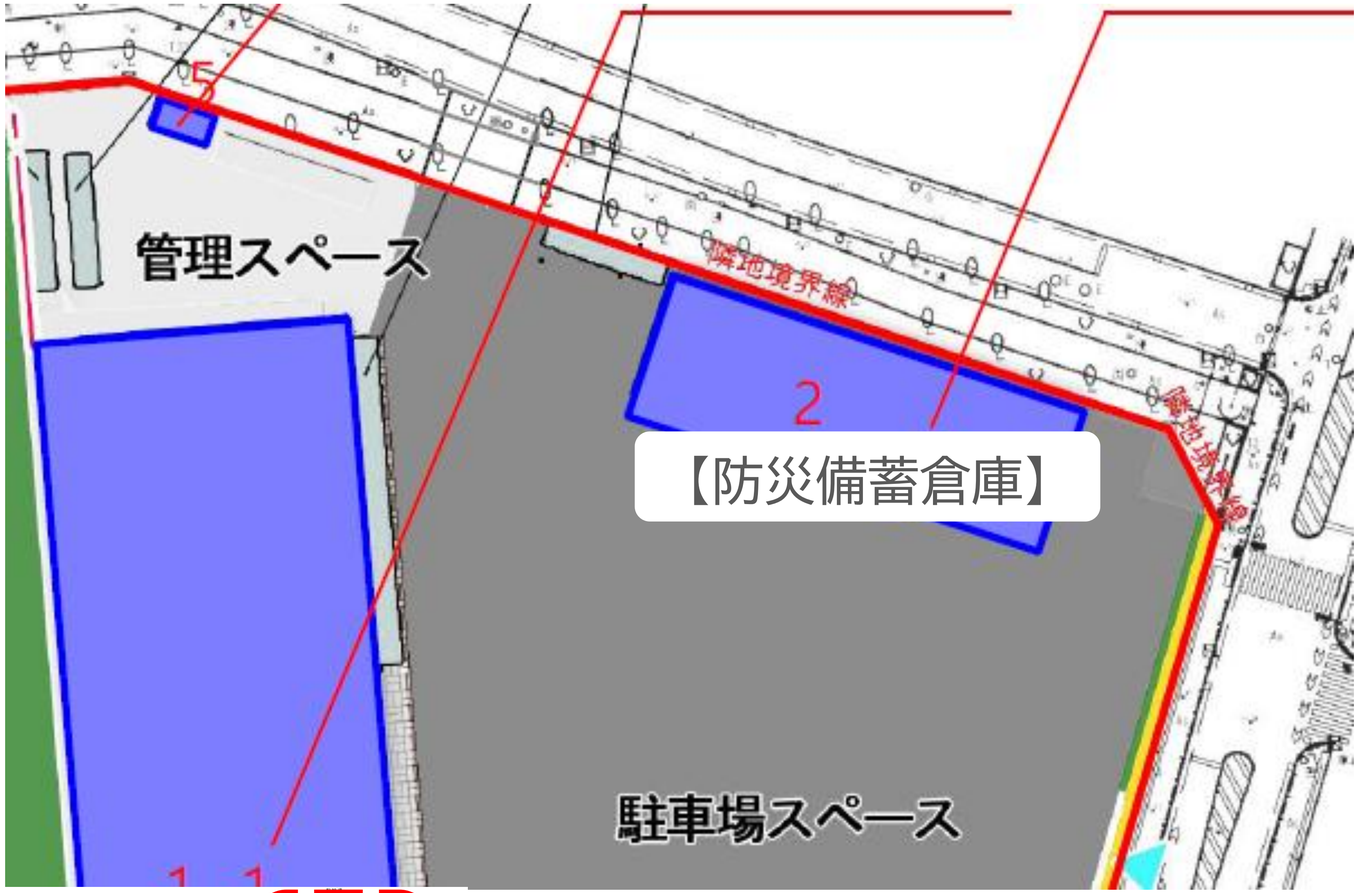
●平屋建て
（延床面積　約７００㎡）

●施設利用の受付、更衣室、シャワー室、トイレ等を設置

●敷地内に整備する各施設からの動線・距離などの利便性に配慮し、効率的な管理や緊急時の迅速な対応が可能となる位置に配置

●公園利用者の利便性向上の観点から、喫茶・休憩機能を検討

3　施設概要【防災備蓄倉庫】





- ２階建て
  （延床面積　約６００㎡）

- 地域防災計画の位置付けを踏まえ、西部地域を含む市全体をカバーする、市内最大の地域内輸送拠点としての機能を整備するために設置

- 日常時における各施設の運用や、災害時における物資の搬出入動線を考慮し、災害等において、適切な位置に配置

- 災害時に協定を締結している物流関係企業等と連携し、備蓄物資の発送、受援物資の搬入などを行う機能を確保

3　施設概要【駐車場】





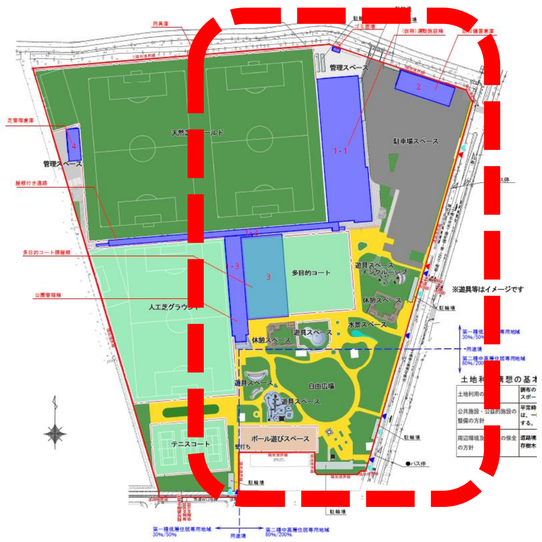
●駐車場の利用は、市民・ＦＣ東京・共用を想定

●身障者用の駐車スペースを確保（安全性や利便性などを考慮した配置）

●安全な動線を確保するほか、周辺の交通環境への影響を抑制する観点を踏まえて整備（滞留スペースの確保など）

3　施設概要【駐輪場】





●来場者の利便性を踏まえ、敷地内の複数箇所に設置

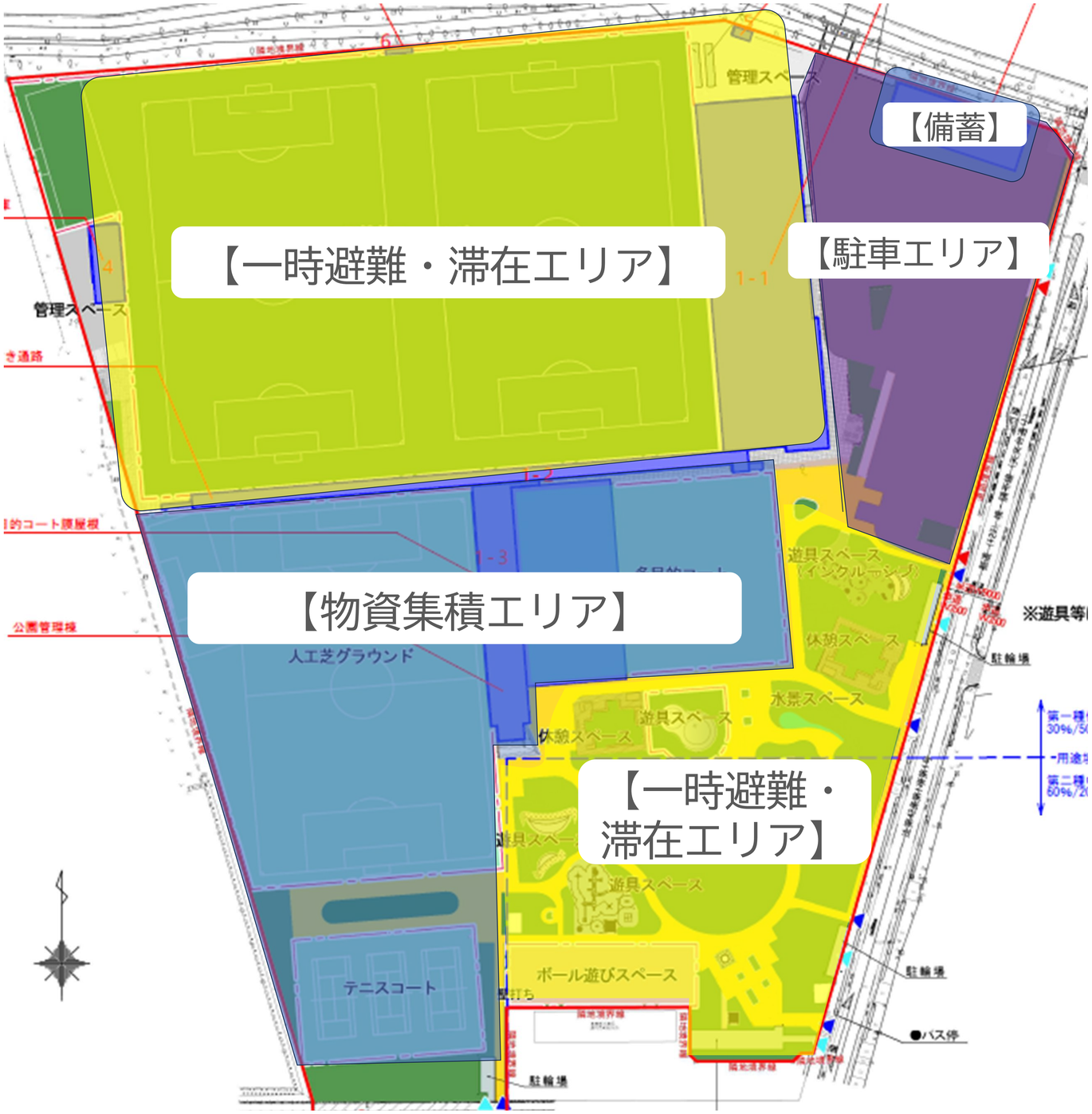
４（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園のイメージ映像

本映像に使用している施設イメージは
ＦＣ東京が作成したものであり、
設備や仕様等については現在調布市と協議中のため、
今後変更となる場合があります。

※本映像に使用している施設イメージはＦＣ東京が作成したものであり、設備や仕様等については現在調布市と協議中のため、今後変更となる場合があります。

５（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園の機能

5　①災害対応



●地域防災計画での位置付けを踏まえた災害対応能力の向上

【一時避難・滞在エリア】
●天然芝フィールド、（仮称）運動施設棟、自由広場を想定
●近隣住民等の一時的な避難場所や帰宅困難者の一時的な滞在場所として活用

【物資集積エリア】
●人工芝グラウンド、多目的コート、テニスコートを想定
●「市内各避難所等への物資輸送拠点」や「応援物資等の保管等ができる大規模な備蓄場所」として活用

【駐車エリア】
●物資輸送車両や関係車両の駐車・待機場所等として活用
●水害の際の浸水想定区域内の車両等の避難場所として活用

5　②スポーツ



●市民がスポーツに親しむ多様な機会を創出（する・みる・ささえるの視点からの市民スポーツの振興）

●市民の運動機会の提供や、トップスポーツの観覧、アスリートの応援

●様々な種目や用途に対応し、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる施設

※画像はイメージです

5　③レクリエーション、地域・多世代交流



●広場や遊具などを活用した余暇活動により、心身のリフレッシュや健康増進を図り、日常生活の中で身近に感じ、親しみを持てる空間づくり

●施設を活用した地域イベントなどの開催を通じた多世代の交流により、地域の賑わいを創出

※画像はイメージです

5　④子どもの遊び場





●広場や遊具など、安全で楽しい自由な遊び場

●遊びを通じた、子どものすこやかな成長への寄与

●誰もが一緒に利用することができるインクルーシブ遊具の設置

※画像はイメージです

5　⑤園路



●公園内の各施設をつなぎ、回遊性を向上

●バリアフリーな設えとすることで、車いすやベビーカーなどでの円滑な移動を確保

●散策やウォーキングなどを通じ、健康づくりに寄与

●災害時における物資の搬出入動線としての活用による防災機能の発揮など、多様な機能を想定

※画像はイメージです

5　⑥暑さ対策





●木陰や屋根を活用し、直射日光を避ける空間を創出（屋根付き通路や休憩場所、東屋などの設置）

●快適なスポーツ・レクリエーション活動のための各種熱中症対策

※画像はイメージです

5　⑦憩い・自然とのふれあい



●心地よく過ごせる憩いの空間づくり

●水や緑の自然にふれあい、身近に感じられる場の創出

●四季折々の変化を感じられる景観を形成

※画像はイメージです

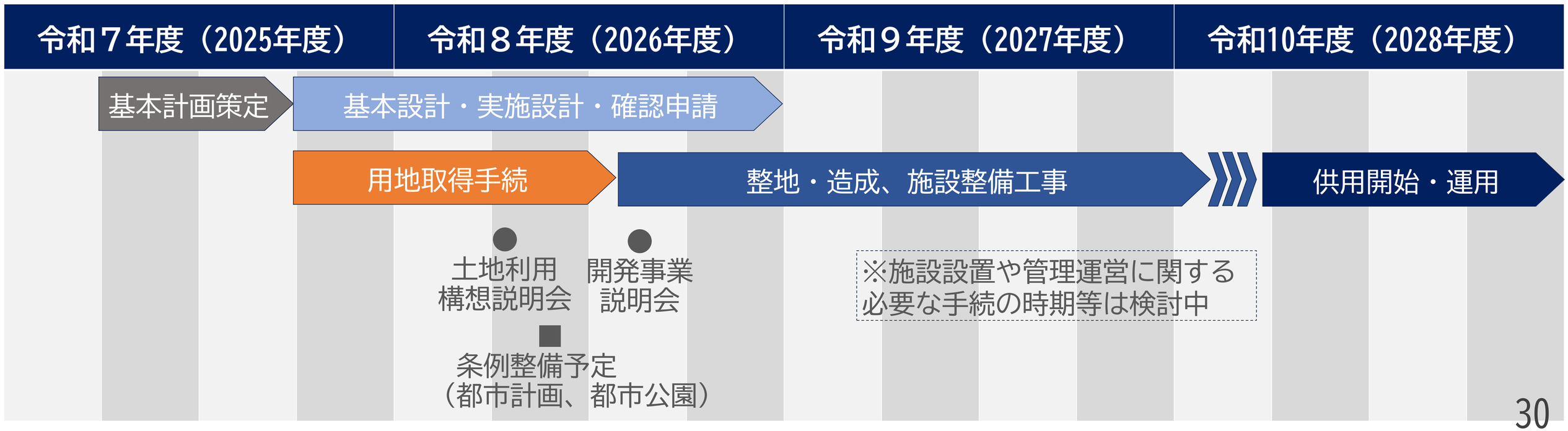
６　事業手法、事業スケジュール

6　事業手法、事業スケジュール

【事業手法など】

- ●市が主体となり、民間活力（ＦＣ東京等との連携）を効果的に活用
- ●ＦＣ東京が有するスポーツ振興や施設運営等の専門性を活用
- ●市が土地を取得（敷地全体のうち、国から１／３購入・２／３無償借受）
- ●ＦＣ東京が練習拠点となる施設を整備し市に寄附、市は公園全体を運用
- ●土地利用等に関する課題への対応（都市計画や都市公園に関する条例の整備）
- ●施設の管理・運営は、市の関与と併せ、効果的・効率的な対応を図るため、指定管理者制度を基本に検討
- ●補助金等の活用やネーミングライツの導入可能性、ＦＣ東京と連携したクラウドファンディングなど、あらゆる財源確保の方策を検討

【事業スケジュール概要】※現時点の事業スケジュール



【参考資料】

■調布基地跡地留保地利用計画（平成２０年３月）の概要

■これまでの主な経過・状況

■調布基地跡地留保地施整備基本計画（令和７年１２月）の概要

■　調布基地跡地留保地利用計画（平成20年3月）の概要

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → 整備基本計画（R7.12）

【留保地の概要】

■位置
調布市西町
（味の素スタジアムの南東側，調布飛行場の南側）

■面積
約６ヘクタール（６万平方メートル）

■所有者
国（財務省関東財務局立川出張所）

■現況
一般利用には開放されていない
（関係者等以外は立ち入り不可）



国の方針を踏まえ，調布市は市民参加などを経て，
平成２０年３月に**「調布基地跡地留保地利用計画」**を策定

■　調布基地跡地留保地利用計画（平成20年3月）の概要

【土地利用の方向】

防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園 としての活用

【利用概要（ゾーニング）】

■スポーツ施設
サッカー場，多目的コート，テニスコート

■多目的広場
多目的広場，管理棟，駐車場

■自由広場
既存樹木等によって自然が感じられる自由広場，駐輪場

■回遊性の創造
遊歩道，園路，エントランス広場

■非常時における土地利用
施設設計を進めていく中で検討
（例：避難者等一時滞留，救援物資の集積拠点など）



※利用計画の策定当時は、公園における運動施設割合の上限を法令で規定（緩和なし）

■　留保地利用計画策定後のこれまでの主な経過・状況

留保地利用計画（H20.3） → **利用計画策定後の経過** → 整備基本計画（R7.12）

【調布市基本計画への位置付け】

平成19年度以降の基本計画に留保地活用の取組を継続的に位置付け

▶ 利用計画の策定，各施設の段階的な整備の検討　など

■地域別計画（西部地域におけるまちづくりの方向）

現行基本計画での位置付け
（令和5年度～令和8年度）

◆調布基地跡地（留保地）の活用に関する取組

調布基地跡地の留保地（国有地）の活用については，既存の利用計画策定以降の周辺地域における施設整備等の状況の変化や民間活力の活用をはじめとする市の公共施設マネジメントに関する基本的な方針などを踏まえ，多角的な視点から検討・整理し，国との協議・調整を行います。

【市における様々な財政需要への対応】

・京王線連続立体交差事業及び連動する中心市街地整備の推進（再開発，区画整理）
・学校施設の老朽化，不足教室及び空調整備対応
・新型コロナウイルス感染症への対応　など

「調布基地跡地留保地利用計画」に基づく取組の進捗に遅れ
（「民間活力の活用」の視点も含め，留保地整備の検討を継続）

令和７年６月にＦＣ東京から市と連携した留保地活用について提案あり

■　留保地利用計画策定後のこれまでの主な経過・状況

留保地利用計画（H20.3） → **利用計画策定後の経過** → 整備基本計画（R7.12）

ＦＣ東京からの提案を踏まえ，市は，
「調布基地跡地留保地の活用による施設整備に関する基本的な考え方」を策定（令和７年８月）

「調布基地跡地留保地施設整備基本計画」を策定（令和７年１２月）

【ポイント】

■留保地利用計画に位置付けた枠組みを基本とした取組

- 市民参加を経て整理した土地利用の方向等を踏襲した対応
- 「防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園」の整備

■民間活力の活用による効果的・効率的な整備

- ＦＣ東京からの提案を生かした効果的な連携

■市及びＦＣ東京の双方におけるメリットの享受

- 市の留保地利用計画で整理した機能の確保（スポーツ施設や広場，防災機能等の配置）
- ＦＣ東京の練習拠点となる機能を追加（練習環境の改善）



■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → **整備基本計画（R7.12）**

【施設整備に関する基本的な考え方】

■利用計画を基本とした取組の推進

- 防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園
- 留保地利用計画の枠組みを基本，ニーズ等を踏まえ可能な対応を検討

■都市計画マスタープランや公共施設マネジメントの基本方針を踏まえた取組の推進

- 民間活力（ＦＣ東京等）の活用による効果的・効率的な施設整備・運営

■市民利用に留意した取組の推進

- 多角的な視点からの市民の利用機会確保
- 利便性・安全性を考慮した施設配置

■都市公園の多面的な機能の推進

- インクルーシブの視点で利用者が快適に過ごし憩える施設（市民における愛着，憩い）

■スポーツ資源を活用したにぎわいの創出・交流の促進につなげる取組の推進

- スポーツを「する」「みる」「ささえる」の視点
- スポーツを楽しめる環境の充実・にぎわいの創出

■地域防災計画を踏まえた防災機能の整備

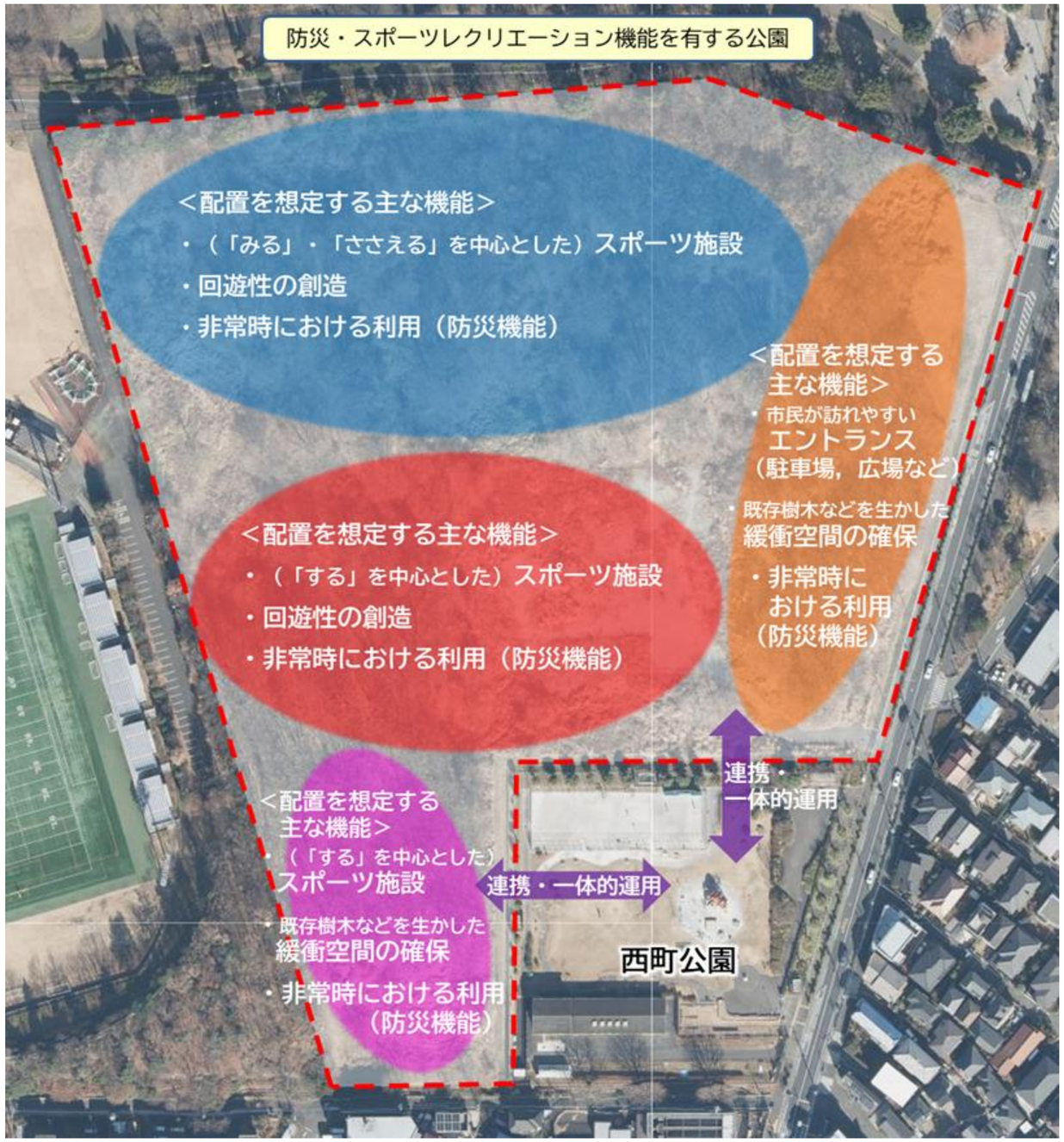
- 調布市地域防災計画における位置付けを踏まえた諸機能の確保
- 大規模災害時における防災拠点としての有効活用

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

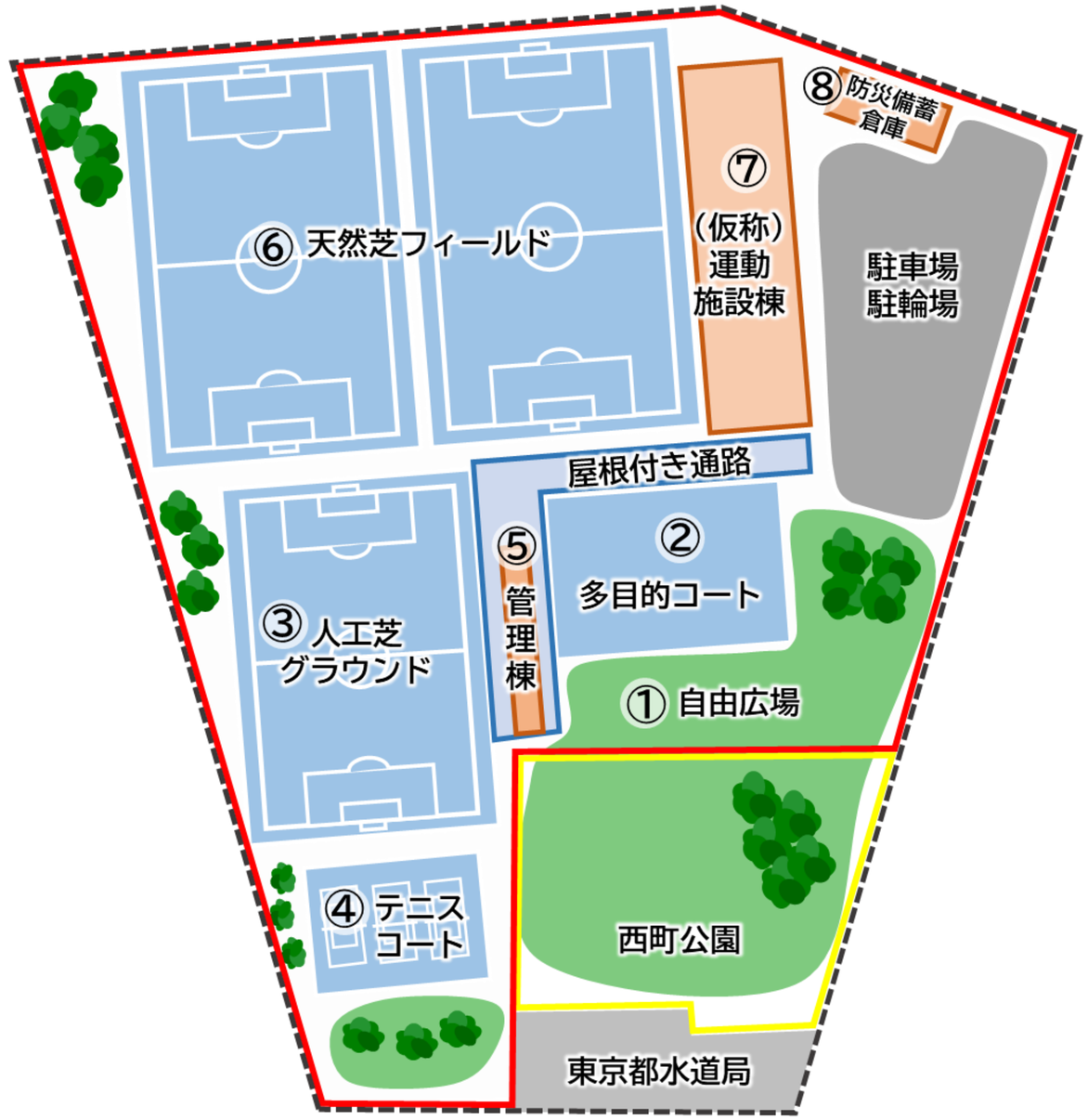
■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → **整備基本計画（R7.12）**

【施設ゾーニング】



【施設配置（通常利用時）】

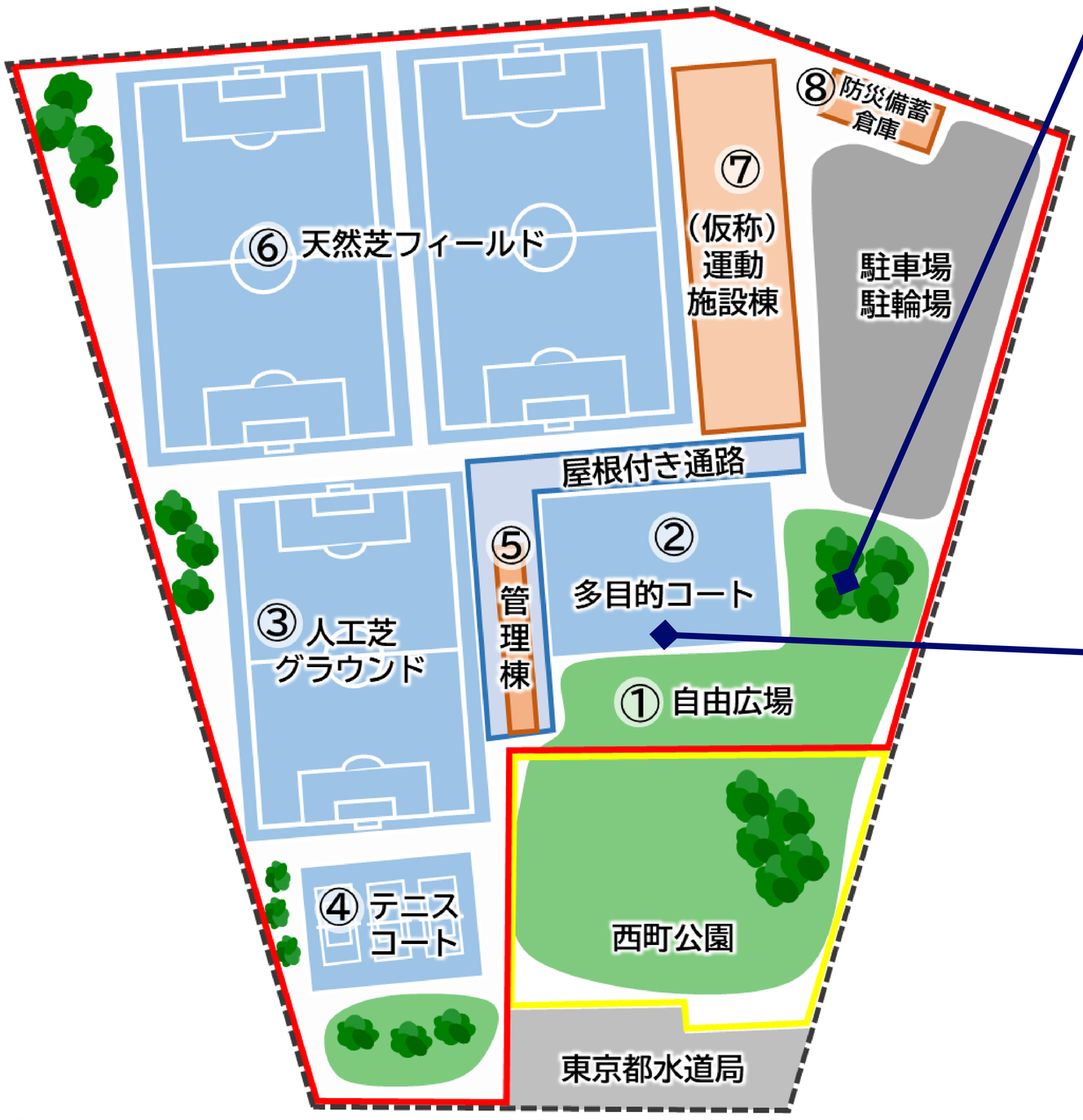


※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → **整備基本計画（R7.12）**

【施設配置の考え方)】



①自由広場

- 西町公園とともに，誰でも利用できる広場
- 施設の顔として，既存の植栽も活用しながら豊かな自然の景観や開放感を醸し出し，地域住民等が親しみを持てる空間
- 緑が有する機能である暑熱対策（木陰）や雨水浸透，遮音，遮光，ＣＯ２削減など，グリーンインフラとして有効活用
- 誰もが利用できるインクルーシブ遊具などの設置
- 多世代が憩える場の確保や，既存の西町公園との連続性，一体性にも考慮した効果的で機能的な配置

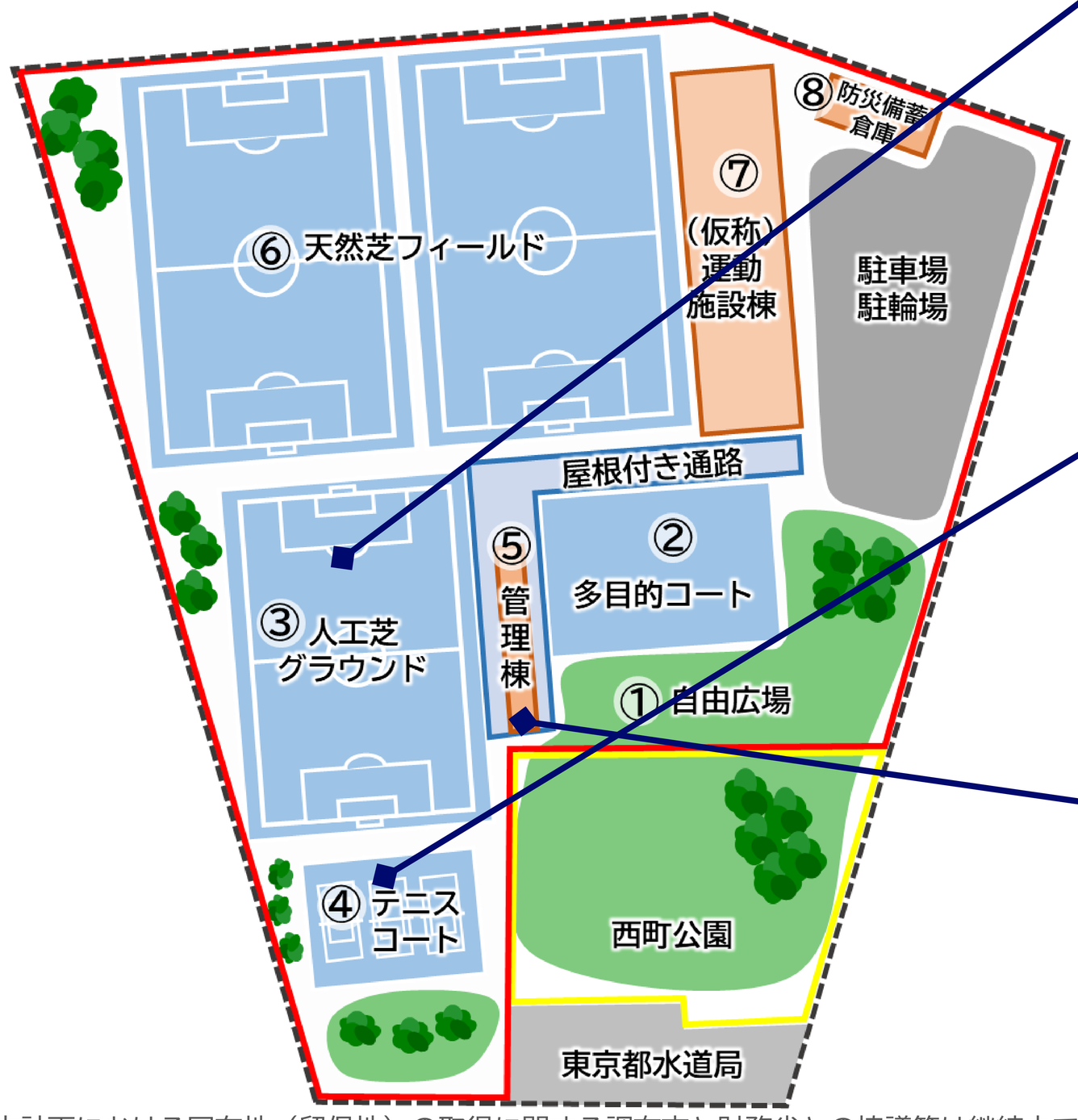
②多目的コート

- 汎用性の高い開放的なスペースとして整備
- 多様な利用（ドッヂビーやモルック等のニュースポーツ，フットサルなどの様々なスポーツや運動，ボール遊びや子どもたちの活動，イベント等の実施）に供する運用を想定
- 新たな付加価値の創造と併せて，施設の有効活用

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

【施設配置の考え方)】



③人工芝グラウンド
- 一般的なサッカー場の広さ
- 周辺環境への影響も踏まえた配置
- 人工芝の特性を活かし，多様なスポーツ（ラクロス・グラウンドゴルフ等）や，健康増進活動・保育園等での活用を想定
- 幅広い世代の利用促進，施設の有効活用
- ＦＣ東京の利用も想定した協議を実施

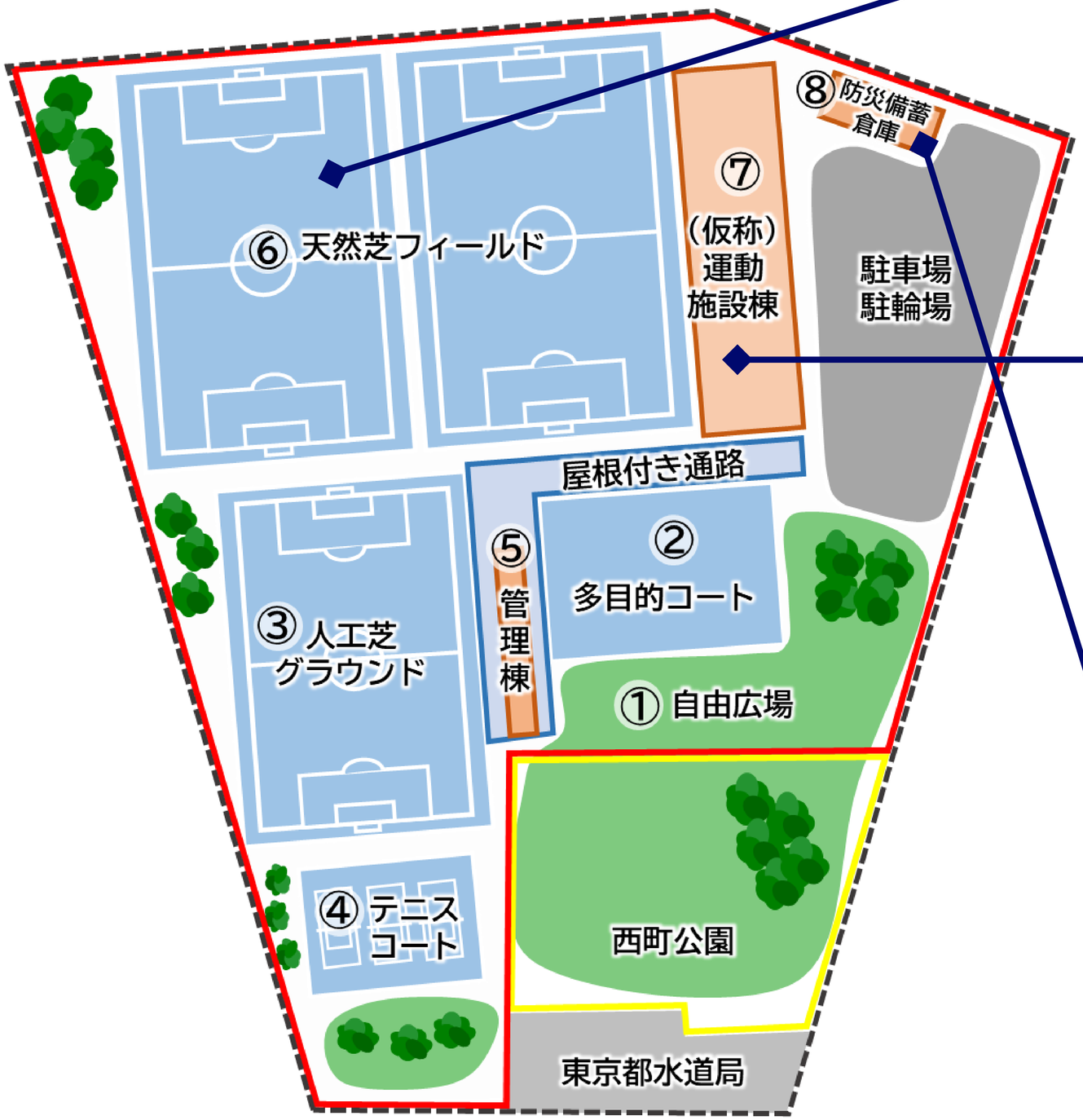
④テニスコート
- ニーズや既存のテニスコートにおける稼働率の高さを踏まえ，複数コートを設置
- 他機能よりも面積が小さいことを踏まえ，留保地の形状に応じた効率的配置
- 周辺環境への影響に留意

⑤管理棟
- 施設利用の受付，更衣室，トイレ等を想定
- 各施設からの動線・距離など利便性に配慮
- 効率的な管理や緊急時の迅速な対応が可能となる位置に配置

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

【施設配置の考え方】



⑥天然芝フィールド
- ＦＣ東京の提案に基づき練習拠点としての利用を主とする施設として整備
- 留保地全体を都市公園として整備する方針を踏まえた計画
- 「する・みる・ささえる」の視点から，市民がスポーツに親しめる環境づくり

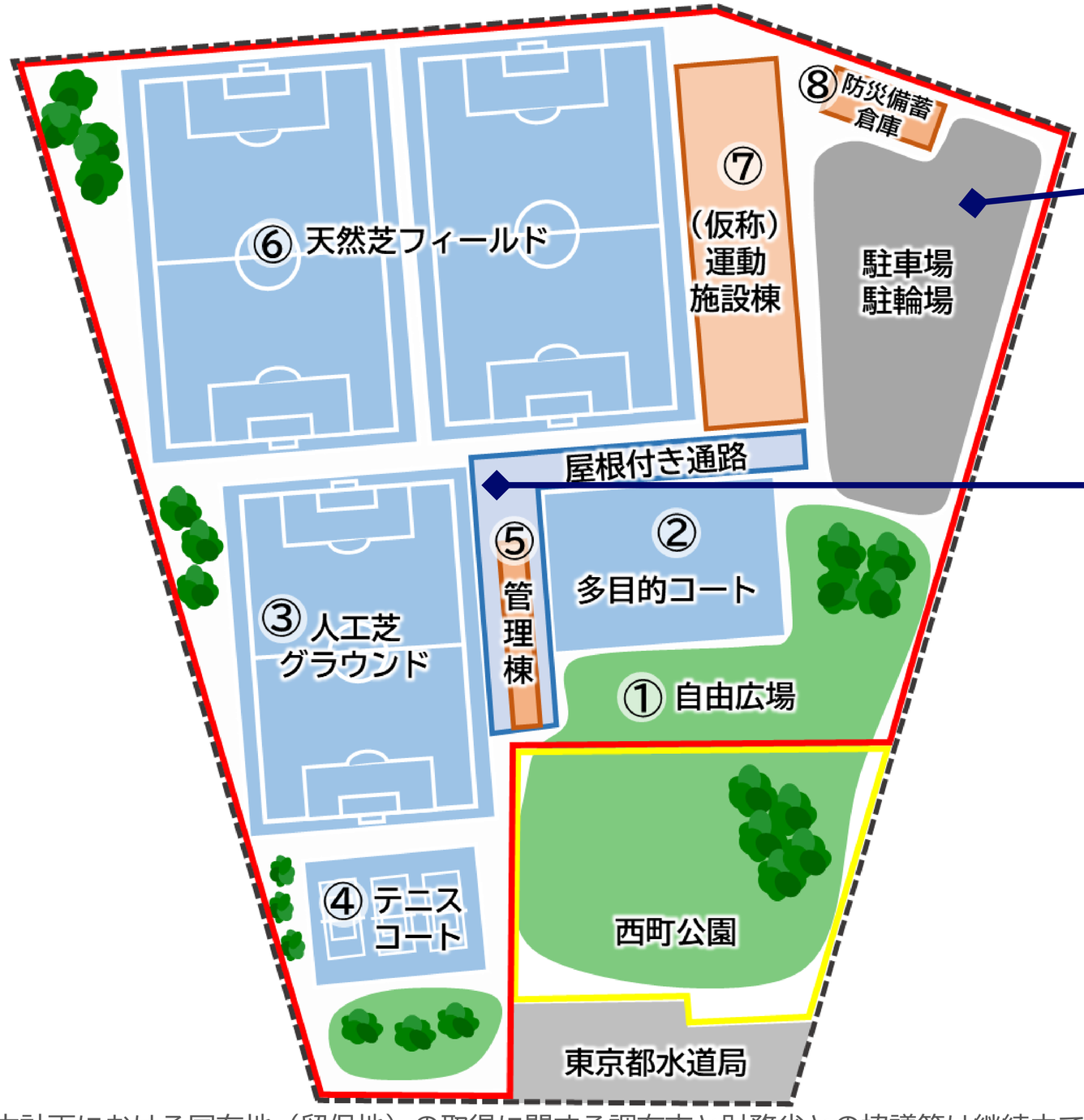
⑦（仮称）運動施設棟
- 練習拠点機能に加え，留保地全体の管理・運営拠点として位置付け
- 市民の運動機会の提供も想定
- 休憩・喫茶機能等を検討
- 利便性向上・交流や憩いの場としての多機能な運用を想定

⑧防災備蓄倉庫
- 施設配置との調和を図りながら整備
- 日常時・災害時の搬出入動線を考慮し，効果的な位置に配置

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

【施設配置の考え方)】



駐車場，駐輪場ほか

・駐車場はＦＣ東京と供用を想定
（一部専用スペースあり）
・安全な動線確保，交通環境への影響抑制

屋根（暑熱対策等）

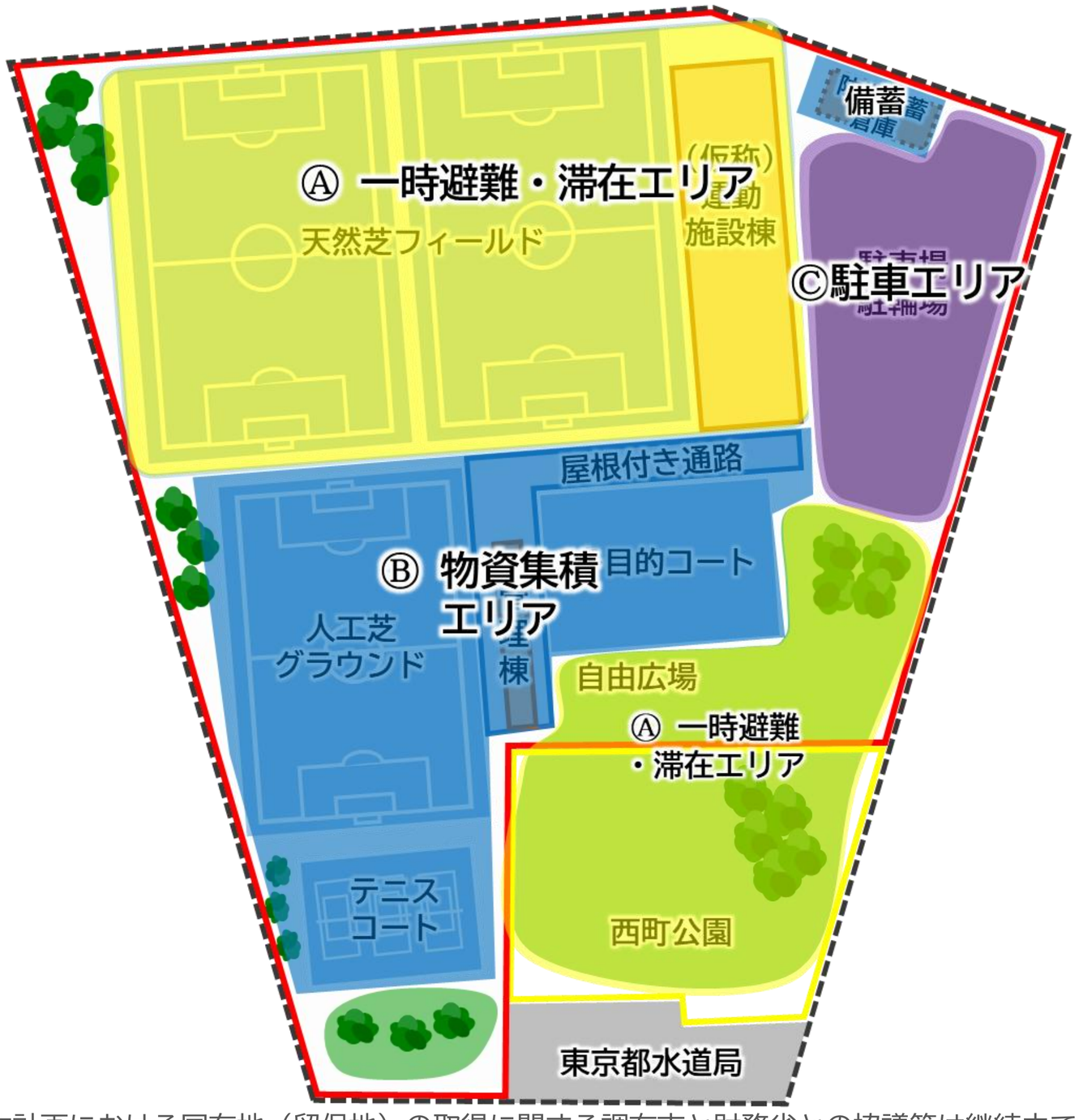
・暑熱対策（日陰確保）
・天候急変時の一時避難場所
・施設利用者等の利便性・安全性の確保

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → 整備基本計画（R7.12）

【災害対応時の機能配置】



※大規模災害時には，留保地に関する市の地域防災計画上の位置付けを踏まえ，フェーズフリーの観点から，平常時の運用における各エリアの機能等を生かした対応を図り，市民の安全・安心の確保につなげます。

Ⓐ一時避難・滞在エリア
- 近隣住民等の一時避難場所
- 帰宅困難者の一時滞在場所

Ⓑ物資集積エリア
- 市内各避難所への物資輸送拠点
- 応援物資等の大規模備蓄場所
- 物資搬入・搬出用の輸送車両動線を確保

Ⓒ駐車エリア
- 災害時における活用を多角的に検討

その他
- 平常時からの訓練で円滑な対応・運用課題の把握・改善
- 味の素スタジアム等で東京都が想定している災害時の機能との連携の可能性を検討
- 広い視点での災害時活用を検討

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → 整備基本計画（R7.12）

【土地利用に関する考え方】

・都市公園における運動施設の面積割合や，現行の土地利用の制限，周辺地域への影響など，想定される課題に関する方策を整理し，必要な対応を図る。

市民に開かれた施設の整備

【スポーツを「する」「みる」「ささえる」に貢献する施設の整備や，イベントの開催等】

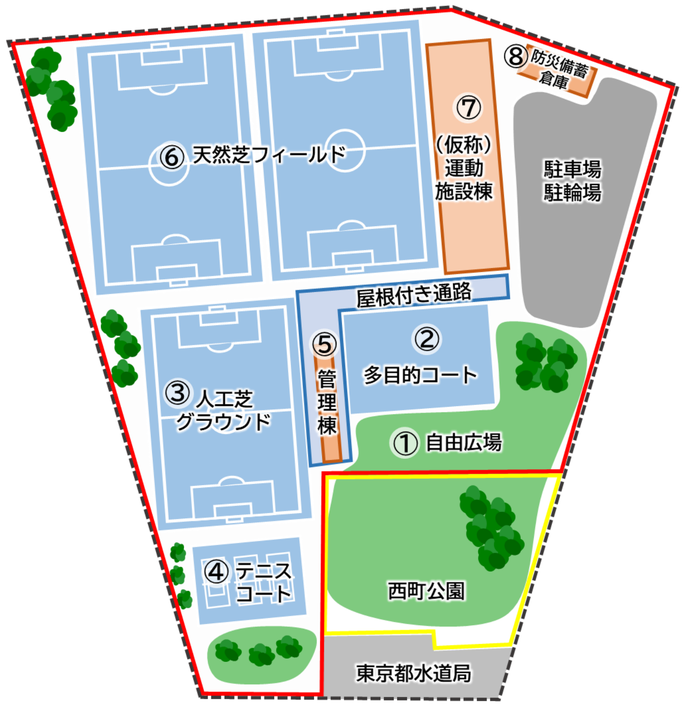
地域の環境向上に資する空間の形成

【周辺環境との調和や環境向上への配慮】

〈取組イメージ〉

・西町公園を含む連続性・回遊性のある園路や広場の整備

・敷地内の建物は低層かつ周辺の住宅地からの距離に配慮した配置



防災機能整備

【大規模災害時における拠点機能の確保】

〈取組イメージ〉

・防災備蓄倉庫の設置のほか，グラウンドや建物を一時的な避難場所や物資集積場所として活用することで，地域の防災力を向上

周辺交通に及ぼす影響への配慮

【施設に出入りする車両等による交通混雑の発生や，歩行者の安全確保の対策】

〈取組イメージ〉

・交通混雑を抑制するため，施設による発生・集中交通量を管理

・敷地の出入りに伴う周辺道路における渋滞防止のため，敷地内に滞留空間を確保

・車両の出入口周辺の安全確保（見通し空間の確保等）

騒音・臭気等への配慮

【施設の運用に伴う車両や室外機等設備什器からの騒音，調理等に伴う臭気への対策】

〈取組イメージ〉

・敷地内の建物は周辺の住宅地からの距離に配慮した配置

・敷地周辺の住宅地と隣接する箇所を中心として緩衝帯となる緑地等を設置

※本計画における国有地（留保地）の取得に関する調布市と財務省との協議等は継続中です。

■　調布基地跡地留保地施設整備基本計画（令和7年12月）

留保地利用計画（H20.3） → 利用計画策定後の経過 → 整備基本計画（R7.12）

■事業手法・費用負担の考え方

【事業手法】

- 市が主体となり，効率的な土地利用や財政負担の抑制の観点から、民間活力を効果的に活用
- ＦＣ東京が有するスポーツ振興や施設運営等の専門性を活かし，ＦＣ東京と連携して整備・運営
- 施設整備は市とＦＣ東京とで役割分担しながら対応
- 施設の管理・運営は，市が基本的な関与を維持する観点も踏まえ，指定管理者制度を基本に検討

【費用負担】

- 公園整備として市が土地を取得（敷地全体のうち，国から１／３購入・２／３無償借受）
- ＦＣ東京が練習拠点となる施設を整備し，練習施設以外の施設整備は市が主体となって整備
- 各種補助金の最大限の活用，ＦＣ東京への応分負担を求めることにより市財政負担を軽減
- クラウドファンディングなどを通じた寄附等の活用検討も含め、財源確保につながる様々な方策を講じる

■想定事業スケジュール

※ＦＣ東京からの提案を踏まえた現時点の想定事業スケジュール

